

# 10/18 第2回 信州学び円卓会議 県民意見交換会 @松本市勤労者福祉センター

テーマ  
子どもの居場所と学びの継続について

準優勝作品

「スタートライン」NHK杯全国放送コンテスト

テーマは  
不登校の生徒の  
高校受入後と内申点

70分-70分

(大事・モヤモヤ・質問・アイデア)

司会



信州居場所・フリースクール運営者交流会代表  
村上 陽一



信州大学教職支援センター准教授  
荒井 英治郎



山ノ内町教育長  
竹内 延彦



諏訪市教育長  
三輪 晋一

テーマ①  
今困っている子どもたち、  
保護者のためにできること

お悩み  
実践に

安心・安全な場をアクリたい  
学校以外もある!  
大丈夫だ!  
選択肢  
その子や親の  
思い♡を  
把握し  
支援する!  
そういう社会の意識  
にしたい  
なかなか知らない  
伝わっていない  
理解できない  
積極的の不登校  
学校=〇〇とモリガシカ固定されている多  
もっとみんなが  
話せる交流の場とゆとり  
(フランクに!)  
学校や行政のネットワークを基とした情報提供  
学校を見直す

テーマ②  
居場所フリースクールの  
持つ可能性

フリースクールは  
特別なものではない  
選択肢の1つ  
学校 ← フリースクール  
どちらか  
「来ているよ」と受け入れる  
好きな場所を  
自分で選ぶ!  
やりたいうこと  
かできる!  
どちらにも  
行ける  
経済・身体的保護者の負担の  
フリースクールの資金的・人員的限界  
フリースクールへの社会や学校の偏見  
偏在や情報収集の大変さ  
学校に組みこめないか?  
フーチフリースクール・保護者のサポート

テーマ③  
信州型FS認証制度  
を活かした協働の在り方

フリースクールにしかできないことを  
大切にした官民担当者連携  
学校とは? 同じ場所を向  
不登校とは?  
民間の限界は? ☆  
当事者それぞれの立場で  
できることを出し合う!  
場をつくる!  
気軽にいける居場所づくり  
学校との連携・出張など  
?受験のため?  
コーディネーターも大切  
学校だけじゃないという安心

全体意見交換

支援・補助のあり方  
認証に向けて  
「伴走」すること大成功!  
ネットワーク化・アラットフォーム化 ⇒ 公になり地位向上も  
進路選択 ⇒ どんなコースを選ぶ?  
↓ 入口の「モ」サジを増やしたい。学びたい場所へ  
↓ 全の子にフェアにしたい 情報の見える化  
↓ 子にも対するメッセージを統一していきたい。出席数は大切!  
↓ 親の会(学期ごとに)教育長が参加 (費用も自治体が負担) ↓ 自治体!  
アラットフォーム化 = 市町村もまた「積極的も!」  
「中核自治体」  
「特徴も」  
「コーディネーター機能」  
「連携していく (認証制度!)」  
「学校は変わるか」= 役割は? ⇒ 民主化  
↓ 子ども基本法の周知 (伊り) ↓ びみと学び  
学校も1つの選択肢  
(学校の相対化) ↓ 担任にのみ相談 → 相談者をさぐる  
↓ フリースクールを学校内につくる  
↓ 働き方改革と一緒にすすめる  
出席数の概念が  
変わってきている ⇒ アラットフォームが必要  
最適な学びのための「選択肢」としての意識が必要。  
(子どもの居場所やフリースクールの)  
情報発信関係者連携、安心・安全な居場所づくりを進める。